

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				アドバイスをもらえている。	今後も日々の様子等お話しさせていただきにお伝えしていきたいと思いません。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	3	5	特に必要がない。	今後、保護者同士の関わりが増えるよう工夫していきます。	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10				1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11						
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	2			3		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11						
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10	1				個別療育時に取り入れています。取り入れた際にはお伝えしていきたいと思いません。
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7		1	3		個別療育時に取り入れています。取り入れた際にはお伝えしていきたいと思いません。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10			1	強い拒否あり。「すべてが嫌」という。	楽しんでいただけるよう精進していきたいと思いません。	
	23	事業所の支援に満足しているか	10	1			子どもの成長が客観的にわかる貴重な場となっています。	満足していただけるよう精進していきたいと思いません。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年7月5日

公表: 令和6年7月30日

事業所名 A Light

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	○	不必要なものは、倉庫や事務所などに移動し活動を行っている。	今後も定員を遵守し、基準以上のスペースを確保します。
	2	職員の配置数は適切である	○	○	人員を多く配置したい時間帯は、非常勤職員を追加配置している。	今後も基準以上の職員配置を行います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	○	敷地内バリアフリー化している。活動時、子どもたちの視野に入りやすい場所は白色で統一している。	今後も、安全・安心して子どもたちが集中できる環境を整えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○	○	常時換気や空気清浄機を使用している。1日2回、共用部やオモチャの消毒を行っている。	今後も継続します。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	○	主要メンバーで行っている。	短時間勤務の非常勤職員の参加など、広く職員が参加できるように職員会議などでも検討します。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	○	保護者等向け評価表の結果を踏まえ、職員で改善策を検討している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	○		今後も継続します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○		第三者による外部評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	○	外部研修や事業所内で研修を行っています。	今後も継続します。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	○	困りごとや変化など状況を確認し、児童発達支援計画を作成している。	今後も継続します。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	○	当事業所で標準化されたアセスメントツールで行っている。	アセスメントツールの見直しを行います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	○	児童発達支援ガイドラインを踏まえ、長期目標・短期目標を設定し、具体的な支援方法を明記している。	今後も継続します。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	○	定期的に児童発達支援計画に沿った支援が行われているかを確認している。	今後も継続します。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	○	活動計画書を起草し、活動内容をチームで検討している。	今後も継続します。

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	○	季節の行事も検討し、年単位で活動プログラムを工夫している。同じ活動でも能力や年齢に合わせて、難易度をその子に適した内容に変化させている。	今後も継続します。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	○	午前には集団活動、午後には個別活動を行っている。	今後も継続します。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	○	毎朝の朝礼時に行っている。	今後も継続します。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	○	子どもたちの帰宅後に行っている。	今後も継続します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	○	個人ファイルに、どのような支援でどんな反応であったか、どのような支援が良かったかなどを記入している。	児童発達支援計画に沿った評価を意識し、記入をします。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	○	子どもの状態に変化のある時や半年に1回以上は、モニタリングや面談を行っている。	今後も継続します。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○	児童発達支援管理責任者や常勤職員が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	○	保護者の同意を得て必要に応じて保育園や幼稚園に出向き連携を行っている。	今後も継続します。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		対象児の利用がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		対象児の利用がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	○	研修に参加をしたり、交流をしている。	今後も継続します。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	○	毎年行われるチャレンジ夏祭りへ参加や周知をしている。	今後も継続します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	○	昨年は子ども部会長として、今年は部会員として、自立支援協議会子ども部会へ参加をしている。	今後も継続します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	○	入退室前後に様子や、頑張っていたこと・難しかったことなど伝え合っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	○	専門職員によるアドバイスを行っている。	今後も継続します。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	○	契約時に文章と口頭で説明を行っています。	今後も継続します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	○	面談時に説明をし、同意を得ている。	今後も継続します。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	○	送迎時や電話で相談に応じ、必要に応じ別日で相談日を設け対応している。	今後も保護者の悩み等と一緒に考え、様々な解決方法を提案します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	○	要望があれば、その都度相談に対応している。	相談室や電話など状況に応じて対応します。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	○	SNSや玄関先の掲示コーナーにて活動内容など発信している。	今後も継続します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	○	鍵のかかる書庫にて文章は保管、SNSの投稿には子どもの姿や名前が写りこんでいないかを確認して発信をしている。職員には個人情報の誓約書・利用者には個人情報について同意書を得ている。	今後も継続します。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	○	子どもへの対応はゆっくり赤りやすい言葉を選択し伝えている。	今後も継続します。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○	学生ボランティアの受け入れを行っている。	地域住民を招待するなどは行っていないが、チャレンジ夏祭りのへの参加をしている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	利用者には契約時に文章にて緊急時の対応について説明をしている。職員には職員会議にて周知している。	職員間での共通理解はできているが、一部保護者への周知ができておらず、今後周知に努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	活動計画の中に避難訓練を計画し行っている。	職員間での共通理解はできているが、一部保護者への周知ができておらず、今後周知に努めます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○	服薬やてんかん発作などの状況は契約や当日利用時に確認をしている。	予防接種については確認をしておらず、今後初回アセスメント時に確認をします。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事の提供はしていない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	○	事例があった時に作成。回覧をし、必要に応じ職員会議で再周知している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	○	事業所内や外部研修に参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	○		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 6年 7月 30日

アンケート期間:令和 6年 3月 10日～令和 6年 4月 15日

事業所名 A Light 保護者等数(児童数) 15 回収数 8 割合 53 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		1		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	7			1		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	6	1		1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		2	4		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	2				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		4	1		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			3	苦情がないのでわかりません	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		1		
14	個人情報に十分注意しているか	8						

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2		1	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			1	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1			
	18	事業所の支援に満足しているか	8				

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年7月5日

公表: 令和6年7月30日

事業所名 A Light

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		不必要なものは、倉庫や事務所などに移動し活動を行っている。	今後も定員を遵守し、基準以上のスペースを確保します。
	2	職員の配置数は適切である	○		人員を多く配置したい時間帯は、非常勤職員を追加配置している。	今後も基準以上の職員配置を行います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		敷地内バリアフリー化している。	今後も、安全・安心して子どもたちが集中できる環境を整えます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		常時換気や空気清浄機を使用している。1日2回、共用部やオモチャの消毒を行っている。	今後も継続します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		主要メンバーで行っている。	短時間勤務の非常勤職員の参加など、広く職員が参加できるように職員会議などでも検討します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修や事業所内で研修を行っている。	今後も継続します。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		困りごとや変化など状況を確認し、計画を作成している。	今後も継続します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		当事業所で標準化されたアセスメントツールで行っている。	アセスメントツールの見直しを行います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動計画書を起案し、活動内容をチームで検討している。	今後も継続します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事も検討し、年単位で活動プログラムを工夫している。同じ活動でも能力に合わせて、その子に適した内容に変化させている。	今後も継続します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼時に行っている。	今後も継続します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		子どもたちの帰宅後に行っている。	今後も継続します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人ファイルに、どのような支援でどんな反応であったか、どのような支援が良かったかなどを記入している。	支援計画に沿った評価を意識し、記入をします。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		子どもの状態に変化のある時や半年に1回以上は、モニタリングや面談を行っている。	今後も継続します。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や常勤職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に担当者と連携をしています。	今後も継続します。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		対象児の利用がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		対象児の利用がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加をしたり、交流をしている。	今後も継続します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		毎年行われるチャレンジ祭りへ参加や周知をしている。	今後も継続します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		昨年は子ども部会長として、今年は部会員として、自立支援協議会子ども部会へ参加をしている。	今後も継続します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に様子や、頑張っていたこと・難しかったことなど伝え合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に文章と口頭で説明を行っている。	今後も継続します。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や電話で相談に応じ、必要に応じ別日で相談日を設け対応している。	今後も保護者の悩み等と一緒に考え、様々な解決方法を提案します。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSや玄関先の掲示コーナーにて活動内容など発信している。	今後も継続します。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵のかかる書庫にて文章は保管、SNSの投稿には子どもの姿や名前が写りこんでいないかを確認して発信をしている。職員には個人情報の誓約書・利用者には個人情報について同意書を得ている。	今後も継続します。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもへの対応はゆっくり赤りやすい言葉を選択し伝えている。	今後も継続します。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		学生ボランティアの受け入れを行っている。	地域住民を招待するなどは行っていないが、チャレンジ夏祭りのへの参加をしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	利用者には契約時に文章にて緊急時の対応について説明をしている。職員には職員会議にて周知している。	職員間での共通理解はできているが、一部保護者への周知ができておらず、今後周知に努めます。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		活動計画の中に避難訓練を計画し行っている。	今後も継続します。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内や外部研修に参加している。	今後も継続します。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	アレルギーのアセスメントはしている。該当の食品を禁止にしている。		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例があった時に作成。回覧をし必要に応じ職員会議で再周知している。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。